

平成29年度 出納室
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
「安心・安全」、「緑」、「健康」、「文化」、「田園都市」の5つのキーワードのまちづくりに取り組む。 厳しい財政の下、行財政改革の取り組みとして、効率的な行財政運営の視点に立ち、市税等の収納率の向上や事務事業の効率・適正化をすすめる、財政の一層の健全化と安定化を図る。	1. 歳計、歳計外現金等の支払事務及び収納事務を正確・適正・迅速に処理を行う。	・適正な会計事務処理等により、現金の計画的で有効な運用を図る。 ・支払いの遅延防止に努め、市の会計事務への信頼を築く。	・審査の連携を図る。 ・関係各課への周知、啓発を行う。(日常指導、文書通知) ・口座振替の促進や引落払いのサービスの有効な活用と運用を行う。	・歳入・歳出の書類の不備や回付期限などに対し、関係課へ徹底した指導を行った結果、徐々に改善が見られる。	A	
	2. 公金に対する意識づけと適正な事務を行う。	・公金取扱の管理とチェック体制を強化し、適切な事務処理を徹底する。	・日々の歳入・歳出書類の審査を厳正に行い、チェック体制を強化する。 ・庁舎外施設への現金保管状況のチェックを定期的に行う。	・庁舎内・外において、公金の保管状況検査を実施(6月・11月)し、適正に管理されていることを確認した。	A	
	3. 歳計、歳計外現金及び基金等の適正な管理と有益な運用を行う。	・年間の資金運用計画に基づき、円滑な財政運用を行い、資金の有益な活用につなげる。	・関係各部、課と調整を行い、歳入と歳出の時期の調整を行う。	・財政課及び関係各課と調整を行い、円滑な資金運用を行った。	A	

平成29年度 出納室
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4. 平成28年度決算書等を作成し、9月議会へ提出する。	・9月議会への提出を目標に、正確な調整と作成を行う。	・関係各部課と調整を行い、作成についての照会と確認を充分に行う。	・決算書及び説明資料について、9月議会に提出を行った。	A	
	5. 公金保管と公金の有益な運用について検討する。	・ペイオフ対策も含み、公金の有効な運用方法について検討する。	・公金の有益な運用方法などの情報収集を行う。	・会計管理者連絡会(11月開催)において、近隣市と公金運用状況の研究・検討を行った。	B	・次年度以降も継続して社会情勢、経済状況を注視し、他市の状況の情報収集に努める。